

平成二十九年（南伝仏紀二五六〇年）を迎える除夜の鐘

百八法句 【第三〇回記念号】

八王子山了慶寺 聞光会・法話テープ友の会・安らぎの会

- | | | | | | |
|----|---|------|--------|-----|--------|
| 1 | 青桶 <small>あおくち</small> の夜空の深さ悪凡夫 | 函館市 | 高松 周輝 | 福井市 | 佐々木祐子 |
| 2 | 赤青の鬼が暴れるわが心 | 越前市 | 熊野 幸治 | 越前市 | 千秋 マツ子 |
| 3 | 秋匂つどこの庭か金木犀 | 越前市 | 川崎 ツヤ子 | 越前市 | 万所 幸子 |
| 4 | 朝散歩遠く聞こえる寺の鐘 | 越前市 | 永田 ハコ工 | 越前市 | 宇野 勝己 |
| 5 | 小豆粥いのち承らすこちこそうさん | 越前市 | 土橋 春子 | 越前市 | 川崎 ツヤ子 |
| 6 | あな嬉し嫁 <small>むと</small> を迎える準備かな | 越前市 | 村上 俊子 | 越前市 | 川崎 ツヤ子 |
| 7 | ありがたしいつも見守る南無阿弥陀仏 | 越前市 | 万所 喜代元 | 越前市 | 藤下 明順 |
| 8 | ありがたや自力の裏に他力あり | 越前市 | 玉村 早苗 | 越前市 | 竹内 武夫 |
| 9 | 案じられ念じられての去年今年 <small>ことごとし</small> | 福井市 | 佐々木祐子 | 坂井市 | 杉田 時江 |
| 10 | 生かさされてみ仏の慈悲ありがたや | 越前市 | 永田 ハコ工 | 越前市 | 玉村 千代子 |
| 11 | 意地通す我と知られてお念仏 | 越前市 | 土本 小夜子 | 越前市 | 廣瀬 暎子 |
| 12 | 稲穂香る寺へと続く道すから | 越前市 | 土橋 春子 | 町田市 | 北嶋 公代 |
| 13 | 今生きる感謝の心南無阿弥陀 | 越前市 | 野村 德行 | 越前市 | 上山 豊子 |
| 14 | 今生きること突き止めよ除夜の鐘 | 越前市 | 津郷 貴世子 | 坂井市 | 杉田 時江 |
| 15 | 今はなき古しえしのぶ黄の色 | 越前市 | 坂崎 吉二郎 | 越前市 | 玉村 明 |
| 16 | 絵でしのぶ青葉黄葉の大銀杏 | 越前市 | 宇野 はな江 | 越前市 | 玉村 明 |
| 17 | 老いの身も生きる幸せなもあみだ | 越前市 | 永田 ハコ工 | 町田市 | 北嶋 公代 |
| 18 | 王子山鐘のひびきや初しぐれ | 越前市 | 宇野 はな江 | 越前市 | 廣瀬 嘉夫 |
| 19 | 放逸 <small>おこたり</small> の族 <small>へ</small> に追われて白道へ | 越前市 | 玉村 早苗 | 越前市 | 藤稜 正子 |
| 20 | 幼な子と念珠掛け合う弥陀の前 | 越前市 | 竹内 咲子 | 福井市 | 下川 明秀 |
| 21 | 押田坂登れば後尤了慶寺 | 越前市 | 山田 法子 | 越前市 | 万所 幸子 |
| 22 | お念仏自ずと洩るる初明かり | 八千代市 | 藤稜 昌文 | 越前市 | 山越 誠一 |
| 23 | お仏壇謙虚な気持拜む朝 | 越前市 | 野村 德行 | 越前市 | 藤稜 宏壽 |
| 24 | 親想つ心は同じ皆念仏 | 横浜市 | 藤稜 純教 | 函館市 | 高松 周輝 |
| 25 | 風邪で臥す日中法話のテープ聞く | 石川県 | 吉野 松子 | 越前市 | 玉村 明 |
| 26 | 聴いてまた我執の渦に耽し 念仏 <small>ねんぶつ</small> | 鯖江市 | 山田 清人 | 福井市 | M・K |
| 27 | 聞かされて煩惱負定と手を合わす | 越前市 | 上山 豊子 | 鯖江市 | 堀 由蓮 |
| 28 | 聞き慣れた言葉も新し報恩講 | 越前市 | | 福井市 | |
| 29 | 気つかぬ身先手先手のおてまわし | 越前市 | | 越前市 | |
| 30 | 今日の日もお慈悲の光につつまれて | 越前市 | | 越前市 | |
| 31 | 今日もまた苦勞刻んで明け暮れる | 越前市 | | 越前市 | |
| 32 | 切り株に銀杏若芽色さやか | 越前市 | | 越前市 | |
| 33 | 銀杏の年輪あさやか手をあわせ | 越前市 | | 越前市 | |
| 34 | 草の身が生きざるすべを教える | 越前市 | | 越前市 | |
| 35 | 九十 <small>くそ</small> 翁弥陀の弘誓に安らいで | 越前市 | | 越前市 | |
| 36 | 愚痴の身にそのまま来いよと弥陀の声 | 坂井市 | | 坂井市 | |
| 37 | ぐちをいい聞いて下さる如来様 | 越前市 | | 越前市 | |
| 38 | 今朝もまた不忠議にいのち頂いて | 越前市 | | 越前市 | |
| 39 | ご晨朝 <small>ごんちよう</small> お一日ついたらち は小豆がゆ | 町田市 | | 町田市 | |
| 40 | この一年身にしみる法話ありがとつ | 越前市 | | 越前市 | |
| 41 | 仕事場のトイレ掃除も念仏して | 坂井市 | | 坂井市 | |
| 42 | 師の歩み我にも歩ます俱会の旅 | 越前市 | | 越前市 | |
| 43 | 娑婆街道求める明かりは法灯明 | 越前市 | | 越前市 | |
| 44 | 娑婆世界不忠議な縁に南無阿弥陀仏 | 町田市 | | 町田市 | |
| 45 | 手術後は法話テープで痛み止め | 越前市 | | 越前市 | |
| 46 | 小3が百人三帰依一寺ひびく | 越前市 | | 越前市 | |
| 47 | 晨朝に阿弥陀を照らす日の光 | 福井市 | | 福井市 | |
| 48 | 背の重荷ひよいと受け入る慈悲のみ手 | 越前市 | | 越前市 | |
| 49 | 早朝の寝床 <small>とこ</small> で法話のテープ聞き | 越前市 | | 越前市 | |
| 50 | 祖師の書に「涙」と二字悲喜愚ふ | 越前市 | | 越前市 | |
| 51 | そも我は勝解者 <small>しょうげしや</small> ならず花の山 | 函館市 | | 函館市 | |
| 52 | 憑 <small>たの</small> めよと先で待つてる阿弥陀さま | 越前市 | | 越前市 | |
| 53 | 誕生日弥陀に包まれ晴はれと | 福井市 | | 福井市 | |
| 54 | 聴聞を重ねることに増える法友 <small>ども</small> | 鯖江市 | | 鯖江市 | |

- 55 夫(つき)逝きて思い出だけが生きている
 56 手を口わす老いが身近でせまつてる
 57 手を口わす蓮の花だわ美しい
 58 天高し母の回忌の四世代
 59 時が経ち法話の感動何処へやら
 60 十字六字名号数へ階上る
 61 誦経聞く異国の友の涙かな
 62 友思い生ける仏華にお念仏
 63 鐘音に目覚めかすかに願ひ寺
 64 なつかしい父のおかけで寺参り
 65 悩み消し悟ることよと除夜の鐘
 66 なんまんた心に入れて喜の寿まで
 67 日本晴れ救いの船にお念仏
 68 願われて生きるちからのお念仏
 69 念仏をとなく消したや湧く邪念
 70 野の花のいのち輝く散歩道
 71 八十路越ゆれど迷ひなお深し
 72 半眼の牛久(うしく) 大仏藤の花
 73 光増す仏具任上げる孫らの背
 74 久々に集いてたのし報因講
 75 ひっそりと久子さん似の慈母観音
 76 夫婦して睡間の座へ亡き子ゆゑ
 77 不揃ひの足袋の干しある僧伽かな
 78 仏の前みんなちがつてみな同じ
 79 法縁に逢つても逢つても愚痴ばかり
 80 報因講家族揃つてお念仏
 81 ほっじゃけどわかつてるつもり反抗す
 82 星月夜友と帰りぬ報因講
 83 頼杖の遺影を送るシヤスバンド
 84 本願に遇えてうれしいお念仏

越前市 伊藤 まきの
 鯖江市 齋藤 多恵子
 越前市 山田 法子
 越前市 土本 小夜子
 福井市 下川 明秀
 函館市 榎原 佑輝
 横浜市 藤枝 純教
 福井市 下川 達江
 越前市 坂崎 吉郎
 鯖江市 堀 與作
 越前市 津郷 喜世子
 鯖江市 齋藤 多恵子
 鯖江市 山本 敏子
 福井市 山形 定次
 加賀市 纒合 駿一郎
 越前市 纒合 昭子
 加賀市 纒合 駿一郎
 福井市 下川 達江
 福井市 下川 達江
 福井市 宇野 はな江
 越前市 藤枝 正子
 越前市 藤枝 正子
 函館市 榎原 佑輝
 函館市 高松 園輝
 鯖江市 堀 由蓮
 越前市 熊野 アナ子
 越前市 十橋 春子
 越前市 千秋 マツ子
 鯖江市 田中 敬二
 函館市 榎原 佑輝
 越前市 玉村 嘉勇

- 85 本堂に正座で拝む阿弥陀様
 86 毎日がいかされずくめ南無阿弥陀
 87 孫二人もみじ手数珠かけムニヤムニヤと
 88 まだ癒えぬ病の身体(からだ)に法話聞く
 89 まはたきの刻(とき)も慈光のど真ん中
 90 弥陀仏の御目(おんめ)緞布(けんぷ)の棋(い)払い
 91 み名称(な)えいのちまかせの手術(て)台
 92 耳もとで生かさるよろこびナムアミダ
 93 無相(むさう)忌に若手(わかし)と味(あじ)わつ念仏(ねんぶつ)詩(うた)
 94 目がうるむ出遇(でぐ)えてよかつた仏法(ぶつぽう)に
 95 聞法(もんぽう)に口(くち)が愚(おろ)かさ気が付(づ)かされ
 96 聞法(もんぽう)に涙(なみだ)あふれる冬の朝
 97 安(やす)らぎの大正琴(たいしご)に聞きほれる
 98 山(やま)ウ二を念(ねん)仏(ぶつ)も入れ作る妻
 99 山里(やまの)の日暮(ひぐ)れは早(はや)し了慶(りやう)寺
 100 病(びょう)む人の心(こころ)計(はか)れず年暮(としぐ)れる
 101 雪(ゆき)開(ひら)い異(い)国(こく)の友(とも)と了慶(りやう)寺
 102 欲(ほ)つきぬ貧(ひん)しき心(こころ)我が苦(くる)かな
 103 余生(よせい)またあると信(しん)じて花(はな)の種子(たねこ)
 104 凜(れい)とした御堂(ごどう)に差(さ)し込(こ)む朝(あ)日(ひ)かな
 105 わが思(おも)いぬけきらずともみ手(て)の中
 106 我が家(うち)こと日柄(ひがら)を問(と)わず報因(ほういん)講
 107 患(わづ)つて氣(き)づく健康(けんこう)ありがたや
 108 我(われ)にある喜怒哀楽(きあひらく)哀(あ)れやお念(ねん)仏
- 鯖江市 田中 敬二
 鯖江市 黒田 和代
 越前市 中山 愛子
 越前市 熊野 幸治
 越前市 熊野 アナ子
 福井市 藤枝 昌文
 越前市 藤枝 昌文
 鯖江市 村田 富美子
 越前市 藤枝 宏壽
 福井市 中浜 好美
 福井市 藤枝 昌文
 町田市 北嶋 公代
 鯖江市 黒田 和代
 鯖江市 山越 誠一
 鯖江市 田中 敬二
 福井市 佐々木 祐子
 横浜市 藤枝 純教
 越前市 玉村 嘉勇
 越前市 伊藤 まきの
 福井市 下川 明秀
 越前市 千秋 マツ子
 越前市 坂崎 吉郎
 鯖江市 黒田 和代
 鯖江市 齋藤 多恵子

☆今年はこの『百人法句』も第三〇回目という記念すべき号になり、県内・県外各地、五十四人からの御投句がありました。(投句多数のため相当数の句を割愛させていただきましたこと、お詫びします。)
 ☆どの句にも作者の聞法・信心・念仏についての篤い思いが窺われます。
 ★読まれていかがでしたか。ご感想をハガキなどに書いてお寄せください。
 ☆来年もまたふるってご投句下さい。投句数は自由。十二月十日締切です。

